

# タイトル『汐製菓会社の新作8 ポテチ4』

## 登場人物

- ・ 汐（しお）（30代）…汐製菓会社の社長。ユニークで型破りなアイデアマン。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、日々新しいお菓子を開発し続けている。快活で明るい性格。

- ・ 塩田（しおだ）（30代）…汐の秘書。真面目で、常に汐の突拍子もないアイデアに振り回される。しかし、実は大のお菓子好きであり、それが理由でこの製菓会社に就職した。

## 第一幕…アイデアの発端

（オフィスの中。汐のデスクは散らかっており、様々なポテトチップスのサンプル袋が置かれて  
いる。）

汐「塩田君、今日は特別に新商品の開発会議を開くぞ！」

塩田「またですか、社長？この前の『ポテチ

3』は結局、誰も食べないほど辛いつてクレームが山ほど来ましたし…」

汐「ふっふっふ、今回は違う！前回の失敗を活かして、さらに進化したポテチが誕生するんだ。名付けて…『ポテチ4 トルティーヤ味』だ！」

塩田「…トルティーヤ味、ですか？社長、それってポテトチップスじゃなくてトルティーヤそのものになるんじゃない？」

汐「いやいや、ポテトチップスの形状と食感を保ちながら、トルティーヤの香ばしさを融合させるんだ！これで世界中の胃袋を掴むぞ！」

塩田「（困惑しながら）でも、トルティーヤ味のポテトチップスって、誰が食べたいんでしょうか…」

汐「冒険しなければ面白くないじゃないか！とにかく試作だ、試作を作ろう！」

塩田「（ため息をつきながら）わかりました…また振り回されるんですね…」

## 第二幕…試作の作成

（汐製菓の試作室。様々なスパイスや調味料が並んでいる。塩田はエプロンをつけ、汐は試作機械をいじっている。）

塩田「じゃあ、まずトルティーヤ味のベースとなるスパイスを…あれ？こんなに唐辛子を入れるんですか？」

汐「そうだ！香ばしさと辛さの絶妙なバランスが重要なんだよ！塩田君も一口食べてみるか？」

塩田「（不安げに）社長、前回も辛すぎて倒れかけましたけど…」

汐「大丈夫、大丈夫！今度は辛さ控えめだから。ほら、食べてみて。」

（塩田が試食する。彼女の顔が急激に真っ赤になるが、無理に笑顔を作る。）

塩田「（咳き込みながら）け、けっこう…ピリッと来ますね…」

汐「それがトルティーヤのエッセンスさ！でも、まだ何か足りない…何だろう？」

塩田「（息を整えながら）もしかして、もっとマイルドなチーズフレーバーを追加してみたらどうでしょうか？」

汐「そうだな！君もなかなかやるじゃないか、塩田君。チーズを追加して、よりメキシカンな味わいにしよう！」

（二人は機械を操作し、新たな試作ポテチを作成する。）

汐「完成だ！これで『ポテチ4 トルティーヤ味』の誕生だ！」

塩田「（不安げに）本当にこれで大丈夫なんでしょうか…」

### 第三幕…試食会

（汐製菓の試食会場。社内スタッフや外国人のモニターが集まっている。汐は自信满满で新商品を紹介している。）

汐「皆さん、お待たせしました！こちらが汐製菓の新作、ポテチ4 トルティーヤ味です！ぜひお試しください！」

（スタッフたちがポテチを食べ始める。最初は怪訝そうな顔をするが、徐々に反応が変わる。）

スタッフA「あれ？これ、意外と美味しいかも  
…」

スタッフB「チーズの風味が良いアクセントに  
なってますね。」

外国人モニター1「(日本語で)オイシイ！ト  
ルテイーヤノカンジガスキ！」

外国人モニター2「(日本語で)コレ、メキシコ  
デモウケルヨ！」

塩田「(驚きながら)本当に好評ですね…」

汐「ふっふっふ、見たか塩田君！この奇想天  
外なアイデアが受け入れられるとは思わなか  
っただろう！」

塩田「確かに…でも、なんだか癖になりそうな  
味ですね。これなら国内外の人々にも受け入  
れられるかも…」

#### 第四幕…発売後の反響

（発売から数週間後のオフィス。塩田が新聞記事を読みながら慌てている。）

塩田「社長！『ポテチ4 トルティーヤ味』が大ヒットしてます！海外のメディアにも取り上げられていて、注文が殺到してます！」

汐「（笑いながら）やはりな！冒険する価値があっただろう？」

塩田「でも、こんなに注文が来るとは思いませんでした…製造ラインがパンクしそうです！」

汐「それもまた、面白いことだろう？さあ、次は何を作るか考えようか。」

塩田「ええ！？もう次ですか！？まだ『ポテチ4』の対応が…」

汐「次は…そうだな、甘いポテチもありだな。」

『ポテチ5』はチョコレート味にするか！」

塩田「（頭を抱えながら）社長、お願いですから少し休んでください…」

汐「面白いことを追い求めている限り、休んでいる暇はないさ！行くぞ、塩田君！」

塩田「（苦笑いしながら）わかりました…社長に一生ついていきます…」

（汐と塩田が次のプロジェクトに向かってオフィスを出ていく。）

終幕

（ナレーション）

ナレーション「こうして汐製菓会社の新作『ポテチ4 トルティーヤ味』は大成功を収めた。しかし、社長・汐の奇想天外なアイデアは止まることを知らない。果たして次はどんなお菓子が誕生するのか？それは誰にも予測できない。だが、一つ確かなことは…彼の冒険はこれから続くのだ。」



（軽快な音楽が流れ、幕が下りる。）

完